

厚生労働省指針13物質  
文部科学省基準6物質

非配合

環境配慮型

水性

F★★★★

環境配慮型塩ビシート改修用プライマー

# フロン塩ビシート防水面用プライマー

防水材用塩ビシートに優れた耐ブリード性で強固に密着!!

## 特長

既存の塩ビシート防水層を撤去する事なく、弊社防水トップコートで塗替えが可能になりました。新築同様の美観を再現し、シートの寿命を延ばす事ができます。

## ● 用途

屋上・非歩行用塩ビシート防水面の塗替え

## ● 容量・配合比・使用量・塗装面積

容量			配合比		標準使用量 (kg/㎡回)	塗装面積 (㎡/缶)
主剤	硬化剤	セット	主剤	硬化剤		
15kg	1.5kg	16.5kg	10	1	0.1~0.15	1回塗りで110~165㎡
3kg	0.3kg	3.3kg				1回塗りで22~33㎡

## ● 防水材用塩ビシート面素地調整

1. 表層の汚れは、水道水とモップ等で擦り洗いを行い、高圧洗浄にて洗浄・清掃して下さい。
2. 黒ずんだ汚れによる密着不良を防ぐためにポリッシャーをご使用下さい。(推奨例参照)

## ■ 塩ビシート防水面用プライマー塗布のための洗浄方法 ■

①汚れた塩ビシート防水面



密着結果[X] ※剥離の可能性

②乾いたぞうきんでふき掃除のみ



密着結果[X] ※剥離の可能性

③高圧洗浄



密着結果[X] ※剥離の可能性

④布モップで擦り洗い+高圧洗浄



密着結果[○] ※密着良好

⑤ラッカーシンナー拭きまたはフロアポリッシャーでの洗浄



密着結果[◎] ※密着良好

※⑤溶剤を使用できる状況であれば、ラッカーシンナーでの拭き取りにて汚れを除去して下さい。また、環境に配慮する場合には、フロアポリッシャー用パット(色・赤)での洗浄やメラミン系スポンジ、アルコール系洗浄剤(メタノール等)で汚れを除去して下さい。

上記①、②、③の清掃レベルでは汚れが取りきれいでないので剥離の可能性があります。目安として④、⑤の状態になるまで洗浄を行って下さい。



### ご推奨例

ポリッシャーを使用し、水を流しながら汚れを洗浄してください。

## ● 標準施工仕様

工程	材 料	使用量(kg/m <sup>2</sup> )	上塗り可能時間(23℃)	備 考
1	素地調整 (塩ビシート面)	—————	—————	浮き、ふくれ等不具合がある場合は、補修を行って下さい。 ※表面洗浄方法参照。
2	フローン塩ビシート 防水面用プライマー	0.10~0.15	5~24時間	主剤：硬化剤=10：1の割合で計量、混合、電動 攪拌機で3分間攪拌した後、 <b>中毛ローラー*</b> 、ハケ にて塗布。
3	各種上塗り材	—————	—————	適用上塗り材 遮熱シートトップ#100,200(1液水性型) シートトップ#100,200(1液水性型) エコトップ遮熱(2液水性型) エコトップ(2液水性型) スーパートップ遮熱(2液溶剤型) 弾性トップ14(2液溶剤型) 各種上塗り材のカタログを参照。

※中毛ローラーは、ウーローラーB(毛丈13mm)が最も適しています。

## ● 乾燥性

	10℃	23℃	30℃
可使時間	2時間	2時間	2時間
上塗可能時間	6~24時間	5~24時間	4~24時間

## ● 施工上の注意事項

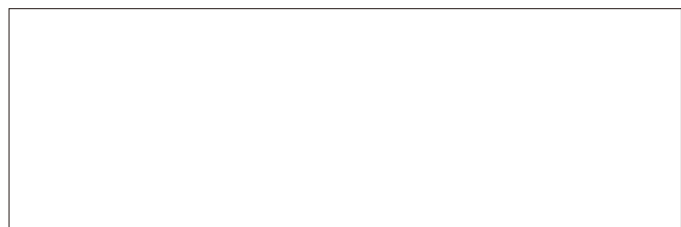
- 配合比は、重量比で主剤:硬化剤=10:1ですので、計量には必ずハカリを使用し、混合する時は必ず電動攪拌機を使用して下さい。
- 気温及び躯体温度5℃以下、湿度80%以上の場合は、施工は避けて下さい。  
硬化時間、硬化後の性能は、施工時の温度に影響されます。
- 塗装後、翌日まで降雨あるいは降雪等の心配がある場合は、施工を避けて下さい。
- 冬期の施工は、夜露、結露の発生が考えられますので、午後3時以降の作業は避けて下さい。
- 夜露、高湿度で、被塗物が結露している場合は、ウエス等で拭き取り、乾燥してから施工して下さい。
- 脆弱部、砂、ゴミ、ホコリ、チョーキング層は完全に除去し、高圧洗浄機で除去後、充分乾燥させて下さい。
- 攪拌する場合は、電動攪拌機で、缶の隅々まで充分に攪拌して下さい。
- 目分量による計量、不十分な攪拌は、硬化不良の原因になりますので、必ずハカリによる計量、電動攪拌機による充分な攪拌を行って下さい。
- 硬化剤はゴムペラ等を使用して、缶の隅々まで充分に取り出して下さい。
- 混合したプライマーの可使時間は2時間(23℃)ですので、可使時間以内に作業を終了して下さい。  
特に夏場、気温上昇で材料に直射日光が当たると、可使時間が短くなるので、早めに使い切ってください。
1. コンクリート面の使用は避けて下さい。密着不良等の欠陥を生じますので、絶対に使用しないで下さい。
2. 金属部への塗装は避けて下さい。また、被塗物のまわりに金属部材がある場合は、塗料が付着しないように養生を行って下さい。
3. プライマーの塗布量を厳守して下さい。また、シートの継ぎ目にたまりを作らないで下さい。  
塗料のたまりができませんと、ひび割れを生じる事があります。
4. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時は、産業廃棄物として処理して下さい。
5. 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時および施工後の換気を充分に行ってください。
6. 塩ビシート面に浮き、破断など不具合がある場合は、施工を避けて下さい。
7. 旧塗膜面がある場合は、密着不良部分を完全に除去してから施工して下さい。または、当社にご相談下さい。
8. 塩ビシートの下に断熱層がある場合は、施工した塗膜がフレイハガレを起こす原因となるため、施工を避けて下さい。

## ● 取扱い上の注意事項

- 開缶後は、速やかに使い切ってください。
- 材料は、冷暗所に保管して下さい。また、施工現場での保管は、雨等が当たらないようにし、外部の野積みは避けて下さい。
- 目に入った場合は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 直接皮膚に触れないよう充分注意して下さい。もし触れた場合は、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
- 材料の保管、取扱いについては、消防法、労働安全法、その他に基づき充分な管理をお願いします。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時は、産業廃棄物として処理して下さい。

※アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)  
容器に表示されている注意事項をご参照の上、安全に施工して下さい。  
詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

## ● お問い合わせは・・・



## 東日本塗料株式会社



本 社 / 〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306  
 埼玉工場 / 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518  
 仙台営業所 / 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320  
 新潟営業所 / 〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730  
 静岡営業所 / 〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063  
 北海道出張所 TEL.090(8586)2214 FAX.03(3697)2306



※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。  
 ※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。

URL <http://www.hnt-net.co.jp>

CATALOG NO.6

'18.12.3000